

[okazaki_175]

活動タイトル	ワットモニター出前授業
実施日	2025 年 10 月 21 日（火）
場所	江別市立いずみ野小学校
対象数	小学校 5 年生 35 名
内容	
＜テーマ・ねらい＞	
<p>小学校 5 年生を対象に、総合の授業として、45 分の「ゼロカーボン ワットモニター出前授業」を行いました。この出前授業は、2017 年から江別市が、希望する学校に対して行っているものです。地球温暖化やゼロカーボンについて知り、自分たちにできることを考えていくきっかけ作りとなることを、授業の目標としました。2 クラス合同で、授業を実施しました。</p>	
＜実施内容＞	
導入：「将来、チョコレートが食べられなくなるかもしれない、って聞いたことがありますか？」という問いかけ	
<ul style="list-style-type: none">・ 2007 年から 2024 年までの異常気象を示した世界地図のスライドショー投影・ 地球温暖化の仕組みや二酸化炭素などについて質問し、児童が回答。・ 上記の補足説明し、ゼロカーボンにも触れる・ 発電の説明・ 身近な家電の電力測定（1）	
<p>白熱電球、電球型蛍光灯ランプ、LED 電球の測定は、児童 3 人に、スイッチを入れたり、ワットモニターの表示を読んだり、電球の熱さを体感してもらったりして、それを他の児童に伝えてもらいました。この 3 種類の電力の違いから、時代が進むにつれて照明の省エネが進んでいることを実感する。</p>	
<ul style="list-style-type: none">・ 身近な家電の電力測定（2）	
<p>ドライヤー、掃除機、テレビの電力測定は、事前に、電力の多い順を予想 →ワットモニターを書画カメラで画面に映して、順位を確認。画面の明るさや強弱の違いによる電力の違いや、使用時間による電力量を示すことで、使い方や使用時間によって、電力量が変わってくることに気づく。</p>	
<ul style="list-style-type: none">・ グループでの話し合い	
<p>自分ができること、学校でできること、江別市でできることについて、それぞれのアイデアを付箋に書き、模造紙に貼りながら、共有。</p>	
<ul style="list-style-type: none">・ 振り返り	
<p>「へえ！と思ったこと、疑問に思ったこと、もっと調べたいと思ったこと」をワークシートに記載</p>	
＜配付資料＞	
<p>ワークシート、E・E・E こどもドリル（NPO 法人北海道グリーンファンド作成）、</p>	
＜感想・課題＞	
<ul style="list-style-type: none">・ 江別市でできることとして、「発電方法を変える」「太陽光パネルをいっぱいつける」などの提案が出ていました。	

- ・いずみ野小の1年間の電気使用量を伝えたところ、ふりかえりに、「自分の家では、どのくらい使っているか気になった」という感想がありました。また、「電気のない時代の夜は、どうしていたのだろう？」という疑問を持った児童もいました。
- ・先生からは、「予想させたり、いずみ野小の電力量を知ったりできたのが良かったです。これからの総合学習で考える視点になったようです。」というコメントをいただきました。
- ・話し合いの時間では、先生たちも、グループをまわって、助言したり、ユニークな意見を教えてくださったりして、助かりました。
- ・ワークシートのふりかえり部分からは、伝わったことや、伝えたりなかったことなどが見えて来たので、今後の授業に活かしていきたいと思いました。